

# 参加企業等の皆さまへ

～2023年度 山口大学 学内業界・企業研究会の開催にあたって～

山口大学 学生支援センター長 高橋 肇

山口大学が開催する学内業界・企業研究会に、ご協力いただきありがとうございます。

この研究会は、学生が働くことをリアルに学ぶために開催する研究会で、今年で24年目となります。学生が自ら主体的に学ぶ機会として、これまで数多くの企業等の皆様のご協力により開催してまいりました。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

国立大学協会等により構成される就職問題懇談会は、学生の学修時間の確保や留学などの多様な経験を得る機会の確保など、学生の学修環境の整備のために、採用にかかわる広報活動は3月以降、選考活動は6月以降とすることを申合せております。

参考) 内閣官房「2024年(令和6)年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請」

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku\\_katsudou\\_yousei/2024nendosotu/](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_katsudou_yousei/2024nendosotu/)

本学は、この「申合せ」に則り、学内業界・企業研究会は、採用選考・採用広報の場ではないことを明確にして開催いたします。参加企業等の皆様におかれましては、本研究会の趣旨をご理解の上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

この研究会は企業の採用活動の場ではなく、学生のキャリア教育にご協力いただくものであることを明確にするために、以下の点を確認させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

- ① 対象学年を限定せず、1年次を含む全学年を対象とした研究会です。すべての学生に対して、ご教示ください。
- ② 学生の服装は自由です。普段の服装で参加させます。
- ③ 採用のための個人情報の収集を目的としたアンケートはお断りします。また、この研究会の参加の有無が採用選考に影響することがないようにお願いいたします。

担当 学生支援センター 教授 平尾元彦  
就職支援室 就職支援係 藤井優江  
e-mail : job@yamaguchi-u.ac.jp  
TEL 083-933-5167 or 5145

山口大学学内業界・企業研究会 2023 開催にあたり

# オンライン 時代における 学内開催 の意味について

参加ご検討いただく企業・官公庁の皆様へのお願い

山口大学 学生支援センター 教授 平尾元彦

hirao@yamaguchi-u.ac.jp TEL 083-933-5145

山口大学の学生の就職活動、ならびに、キャリア教育の実施には、平素よりご協力をいただき、誠にありがとうございます。

キャリア教育の一環として開催する学内業界・企業研究会は、本年、対面機会を大幅に増やしながらかも、オンラインのよいところは大胆に取り入れて開催いたします。これまでのオンライン活用経験を活かした「新しい学びと就活スタイルに対応した研究会」を目指します。この方針をご理解いただき、引き続きご協力いただければ幸いです。

## ■ 「出会い」と「学び」を明確にした新しい研究会へ ■

学内業界・企業研究会は、山口大学の正課外キャリア教育の柱のひとつ。これまで想像していなかった業界への興味を持つなど、学内で開催される研究会だからこそその発見がここにあります。どこの大学でもいいわけではない。想いを持った企業の皆さまとの出会いは大切にしたいところです。

仕事や会社への理解を深めるためには、さらなる学習が必要です。対話はそのための有効な手段。オンラインだからこそ、互いの都合のよい時間にじっくり話ができたり、普段は会えない方ともお会いできたり。新たな可能性は広がります。様々な出会いのなかで学び、はぐくみ、カタチにする。就職活動において大切なことだと思っています。

出会いと発見ステージと、学びはぐくむステージをわけて考えます。出会いは動画や文章、短時間の対話で、より深い学びは別の機会です。学内ですべてを完結させるわけではない新たなスタイルを模索します。

### ● 出会いと発見ステージ ～ 知らない会社・仕事と出会う ●

大学が主催する研究会は、各学部の就職ガイダンスや正課科目「キャリア教育」など学内諸活動との連動によって、参加が容易になる効果があります。就職活動に本格的に乗り出す前に出会い、発見すること。そのためには知らない世界を見るきっかけを与えることが重要だと考えます。まずは、知る。オンラインを上手に活用しながら、短時間の接触から深い学びへといざなうステージを構築します。

### ● 学びはぐくむステージ ～ 仕事と会社への理解を深める ●

会社の成り立ちやビジネスモデル、働きがいやビジョンなど、より深い学びに对话は欠かせません。質問すること、感じることに。オンラインであっても大切です。対話による効果的な学習へと発展していくことを期待します。学内外の多様で多彩な学びにつながりながら、未来の自分をはぐくむためのステージです。

## ■ オンラインでの学内開催にあたり2つのお願い ■

オンラインなのに学内？ もはや大学でやることの意味があるのか？ この問いに自問自答しながら、学内外で議論を重ねながら、新しい時代の学内セミナー（本学では「研究会」との名称です）を構築してまいります。明確な答えがあるわけでもなく、自信があるわけでもなく。これまでの経験を活かしつつ、今年もやりながら模索していきたいと思っております。

オンラインでの学内セミナー開催にあたって、以下の2点をお願いいたします。

### 1. 山口大学の学生のためのオリジナル情報提供であること

対面式の場合は、本学にお越しいただき本学の学生を目の前にお話をさせていただきますので、ここでは山口大学の学生向けの情報提供であることは明らかなです。オンラインでは全国の大学生にむけて情報発信ができます。就職情報会社を経由する情報発信はすでに多方面でなされ、本学の学生たちも参加しています。学内開催はそれとは異なる「山口大学の学生への情報発信」にこだわり開催したく思っております。

録画動画の配信の場合、たとえば冒頭に「山口大学の皆さんこんにちは・・・」からスタートする。また、本学の卒業生が登場するなど、オリジナルメッセージを明確にしていたくよう願いたします。

### 2. 「学びはぐくむステージ」を別に構築すること

このたびのオンライン化では、学内セミナーの意味を「出会いと発見ステージ」「学びはぐくむステージ」に分離し、それぞれの役割を明確にします。知らない仕事を発見し、知らない会社と出会うのは、就職活動の前段階では重要です。オンラインは移動と時間のコストを劇的に低下させるため、このステージを効率的に運用することができます。まずは知ること。ここは重視したいところです。

反面、深い学びをオンラインでどう実現するのか。ここには工夫が必要です。別日程での学習機会を創出いただき、学内セミナーではその学びへ誘導してください。インターンシップであっても座談会であっても、学生の学びが深まるものであれば形態はこだわりません。「〇月〇日にオンライン座談会を実施するので、希望者はメールで申し込んでください」など、具体的メッセージを盛り込んでいただくようお願いいたします。なおこれは、就職活動の早期化を企図するものではありません。3月以降の採用説明会にむけての事前学習であることは明確にしてください。またこれは、学業を促進するためのものであって阻害するものではないことも明確にしてください。

今年度は、学内での対面対話の機会を準備しております。よき接続を図っていただければと思っております。なお、各社で開催する学習会は、本学の学生限定であることを求めているわけではありません。他大学の学生と一緒に学びも有意義なものとして理解しています。

以上、どうぞよろしく願いたします。